

調布市環境基本計画策定に向けた 環境に関する市民意識調査 報告書【概要版】

資料 2（参考 2）

I 調査概要

【調査目的】

調布市は、平成 28 年 3 月に環境行政におけるマスタープランである「調布市環境基本計画」（計画期間：平成 28 年度～令和 7 年度）を策定しました。

その間、令和 3 年 3 月の改定も経て、環境の保全と創造に向けた様々な施策を推進しているところです。
令和 7 年度は、現行計画の策定から 10 年目の最終年度であり、計画の評価や市民意向を把握する必要があることから、次期計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的に、意識調査を実施しました。

【調査概要】

調査対象	市内に在住する満 16 歳以上の 3,000 名を住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和 7（2025）年 4 月 30 日～5 月 21 日
調査方法	配布方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及び WEB 回答
配布数	3,000 票
回収数	1,323 票（郵送：907 票、WEB：416 票）
回収率	44.1% ※ 5 月 8 日督促実施
参考：前回調査（令和元年） 配布数／回答数（率）	配布数：3,000 票 回答数：1,321 票（44.0%）

調布市環境基本計画策定に向けた意識調査

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
市は、環境に関する施策を総合的・計画的に推進するため、「未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布－私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし－」を将来像とする「調布市環境基本計画」を策定しています。
現在の計画が前回の改定から 5 年を経過し、令和 7 年度に計画期間満了を迎えることから、市は、新しい「調布市環境基本計画」の策定を予定しています。
この調査は、環境に関する皆様の意識や取組の状況を把握し、計画策定や今後の取組に活かすことを目的として行うものです。調査対象につきましては、調布市に住民登録をしている満 16 歳以上の方から 3,000 人を無作為に抽出させていただきました。
ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいようお願い申し上げます。

調布市長 長 友 貴 樹

■ご回答にあたってのお願い

- 本調査は無記名です。回答結果はこの調査の集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。
- 調査は個人を対象にしています。お送りした封筒に書かれている宛名の方ご本人がご記入ください。
- 特にことわり書きがない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は問 1 から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○を付けてお答えください。なお、質問により、1 つだけ選んでいただく場合と、複数選ぶことができる場合がありますので、各質問に従ってお答えください。
- 質問の回答で、「その他」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的に記入ください。

ご回答の方法（ご都合に合わせて①または②をお選びください）

① 郵送でのご回答

本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函（切手貼付不要）してください。

② スマートフォン・WEB でのご回答

下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答ください。

こちらからも回答できます

https://forms.gle/zz2zksQWioCdKvHW8

※Google フォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。

令和 7 年 5 月 21 日（水）までのご回答にご協力をお願い申し上げます。

調査についての
お問い合わせ

調布市 環境部 環境政策課

電 話：042-481-7086 E-mail：kanky@city.chofu.lg.jp

II 調査結果（回答者自身のことについて）

回答者属性について

○性別（問 1）

性別	割合
男性	39.9%
女性	57.4%
無回答	1.3%
回答しない	1.4%

○年齢（問 2／年代を回答）

年齢	割合
70歳以上	28.3%
60～69歳	15.6%
50～59歳	19.2%
40～49歳	16.5%
30～39歳	10.3%
20～29歳	6.6%
16～19歳	2.4%
無回答	1.1%

○居住地区（問 3／住んでいる町名を回答）

地域	アンケート調査		地域別人口※令和 7 年 1 月 1 日	
	回答数（人）	構成比	人口（人）	構成比
西部地域	213	16.1%	36,723	15.3%
北部地域	221	16.7%	43,730	18.3%
南部地域	546	41.3%	98,765	41.3%
東部地域	328	24.8%	60,130	25.1%
無回答	15	1.1%	—	—
計	1,323	100.0%	239,348	100.0%

III 調査結果（環境に関する考えについて）

環境に関する認識について

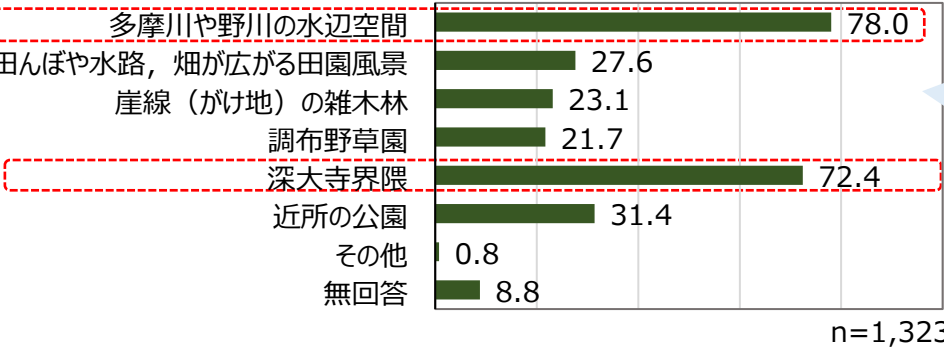
○環境問題の中で、危機的な状態にあると感じていること（問 6／複数回答 3 つまで）

環境問題	割合
緑の減少（木々や田畑が減っていること）	32.7
地球温暖化の進行（地球が暑くなり、大雨が増えるなど気候が変わりつつあること）	77.0
生物の種類の減少（生き物の種類が絶滅などにより減っていること）	15.6
湧き水の減少（地下水の枯渇などにより湧き水が減少しつつあること）	6.4
大気の汚染（空気が汚れる物質が発生していること）	28.9
水質の汚濁（水が汚れる物質が川や海に流れ込んでしまうこと）	20.6
食べ残しや売れ残りなどの食品ロス（本来食べられるものが捨てられてしまうこと）	40.5
ごみの不法投棄などの不適切な処理（ポイ捨てによりまちが汚れたり、海洋汚染につながること）	28.0
使い捨てや過剰購入（無駄遣いや大量消費により地球の資源を消費し続けること）	24.3
その他	3.5
危機的に感じることはない	0.8
無回答	1.1

- ・回答者の 7 割超が「地球温暖化の進行」を危機的な状態にあると感じている。
- ・次いで「食品ロス」や「緑の減少」を選択している回答者が多い
- ・日本や世界の温暖化に目を向けるとともに、気候変動に応じた対策の強化が必要

○調布の特色であり将来に残していきたいと思う場所（問7／複数回答 3つまで）

※回答者比 0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

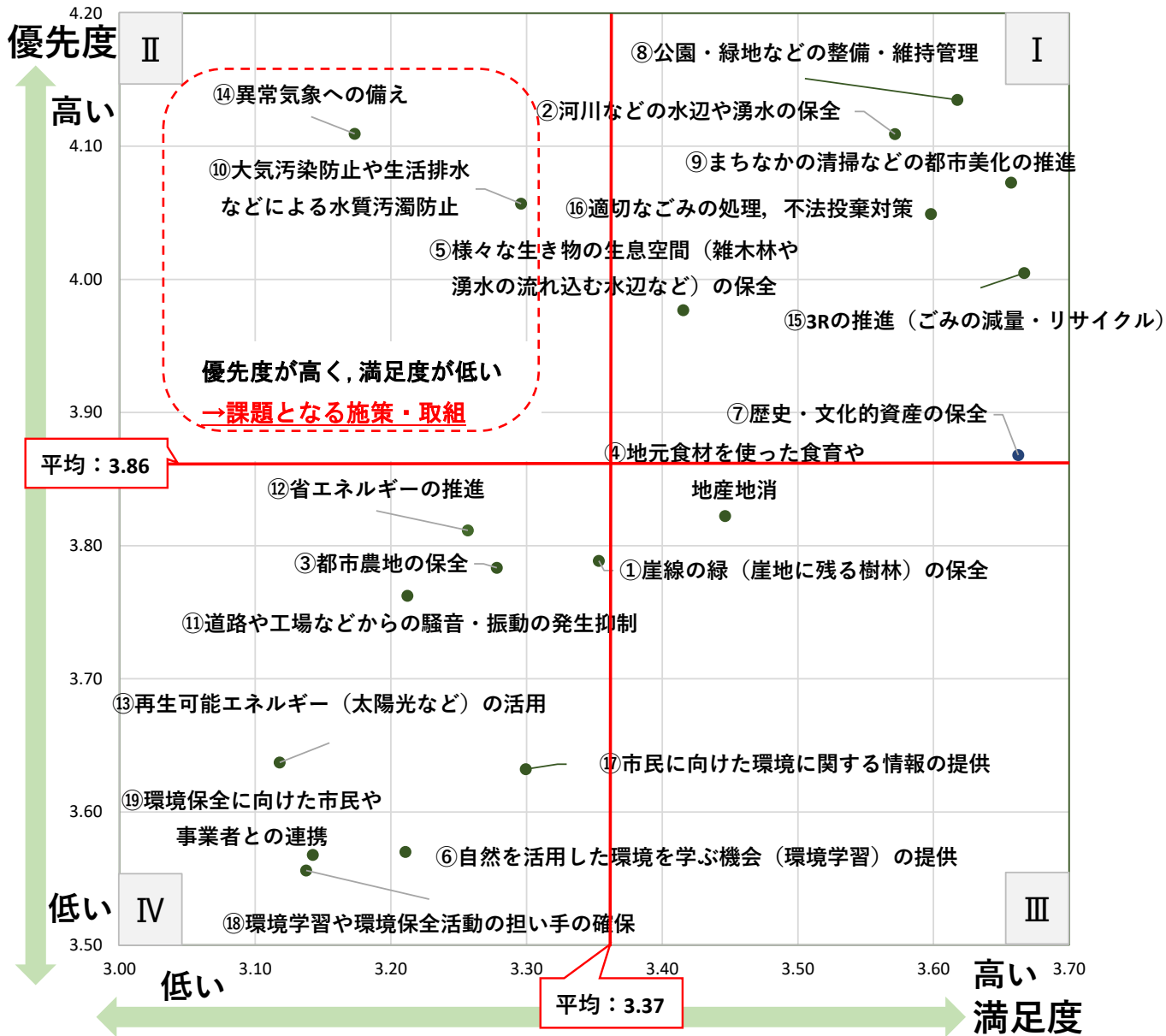


・「多摩川や野川の水辺空間」と「深大寺界限」で回答者の7割超が回答
・身近な水辺空間や、地域の歴史・文化に親しむことができる取組の強化が必要

調布市の環境に関する施策・取組について

○調布市の環境に関する施策・取組（問10／各項目単数回答）

調布市の環境に関する施策・取組の優先度・満足度を点数化し、分析した結果は以下の通り。※点数化については、アンケート報告書（P38）の本文参照



・市の課題であることが考えられる施策・取組は「大気汚染防止や生活排水などによる水質汚濁防止」と「異常気象への備え」
・引き続き、良好な生活環境の実現を図るとともに、災害にも強く安心して暮らせるための取組が必要

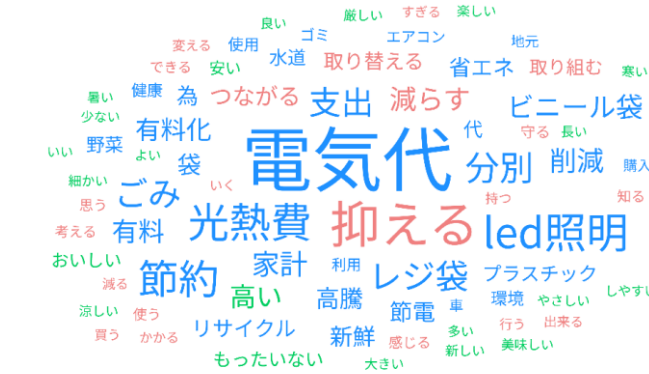
環境に関する取組について

○環境について、普段取り組んでいること（問8／設問20項目で、「積極的に取り組んでいる」「ときどき行っている」「今後行いたい」「行方予定はない」の中から回答）

- ・回答者の9割以上が環境に関する取組として「ごみの分別」「エコバッグの持参」「エアコンの適正温度設定」を行っている。
- ・一方で、「環境学習に参加し、環境への理解を深める」については「行っていない」と回答した人も多く、今後も環境学習に関するプログラムの拡充や、取組の強化が必要

○環境に関する取組を行うきっかけ（問9／記述回答・3つまで選択）

- ・電気代の高騰など、値上げをきっかけに、省エネや光熱費の削減に取り組むケースが多い
- ・環境のためやもったいないという意識から取り組むケースもあり、今後もこのような環境に関する意識向上のための取組が必要

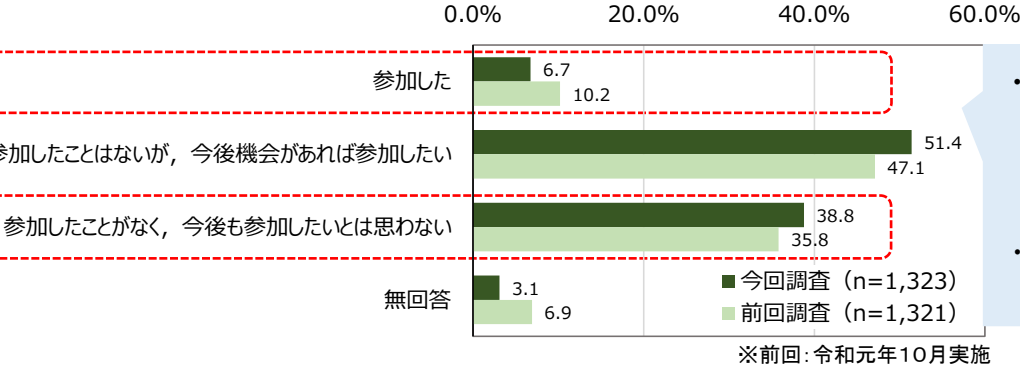


～テキストマイニング分析によるワードクラウド～

- ・青字：名詞，赤字：動詞，緑字：形容詞
- ・画像は、スコア順

環境活動について

○1年間の環境活動の参加有無（問13／単数回答）



・「参加した」は前回調査と比べ減少、「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」は増加
・今後も、環境活動の参加者増に向けた取組が必要

○環境活動に参加しない理由（問17／複数回答）※「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人限定（n=513）

段：回答数 段：%	合計	問17 環境活動に参加しない理由						
		活動に関 する情報 がないか ら	参加する 時間がな いから	興味のあ る活動が ないから	環境保全 につな がってい ると感じ ないから	一人では 参加しに くいから	その他	無回答
全体	513 100.0	97 18.9	285 55.6	97 18.9	33 6.4	139 27.1	83 16.2	1 0.2
手 令	16～19歳	10 100.0	4 40.0	8 80.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	20～29歳	27 100.0	7 25.9	22 81.5	9 33.3	1 3.7	10 37.0	2 7.4
	30～39歳	62 100.0	13 21.0	45 72.6	19 30.6	3 4.8	19 30.6	2 3.2
	40～49歳	80 100.0	13 16.3	54 67.5	12 15.0	6 7.5	22 27.5	3 3.8
	50～59歳	85 100.0	19 22.4	56 65.9	21 24.7	9 10.6	28 32.9	6 7.1
	60～69歳	76 100.0	9 11.8	41 53.9	12 15.8	5 6.6	16 21.1	10 13.2
	70歳以上	170 100.0	30 17.6	58 34.1	22 12.9	8 4.7	40 23.5	60 35.3

・「参加する時間がないから」は「16～19歳」と「20～29歳」で8割超が回答
・時間がない中でも参加できるようなプログラムづくりや、身近な場所で参加できる仕組みが必要